Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2018・2019

インスピレーションになろう

Rotary

ガバナー月信
Vol.6 2018.12.1

■目次

細川　吉博　第2500地区ガバナーメッセージ …… 1
公式訪問レポート …… 2
事業報告　旭川北ロータリークラブ …… 3
事業報告　根室西ロータリークラブ …… 4
米山奨学生レポート …… 5
ハイライト米山 …… 6
コーディネーターニュース …… 8
文庫通信 …… 9
新入会員・ロータリー財団寄付者・物故会員・お知らせ …… 10
例会出席率 …… 11

ガバナー・メッセージ

2018－19年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー　細　川　吉　博
（帯広北ロータリークラブ）

11月2日に礼文ロータリークラブの公式訪問をもって2500地区公式クラブ訪問は完了しました。9月5日に予定していましたが台風に見舞われ、利尻島からの移動を断念せざるおえませんでした。その後胆振東部地震からのブラックアウトにてなかなか日程が合いませんでした。67クラブを訪問させて頂き本当に多くのロータリアンにお会い出来、親睦と友情に育まれたロータリーの素晴らしさを実感できました。

その後何ヶ所か同期ガバナーの地区大会に訪問させていただきました。ロータリアンをはじめ多くの皆さんの講話を聴かせて頂きました。特に2790地区（千葉県）において講演されました阿部志郎様のお話は実に感銘を受けました。幼少時に米山梅吉翁とも親交があったとのことですがその中で特に「はんぶんこ」の話です。先日の2760地区、同期の村井ガバナーも話されていました。考えさせられるのは、私たちの奉仕活動は自分が不要なものを、余ったものを他の人に分け与えることなのでしょうか。ここに一つのパンがある。自分は空腹だが目の前に同じ空腹の他人がいたとしたら二人ではんぶんこに分けて空腹を一緒に満たすことが本当の奉仕活動なんではないか。私たちのちょとした我慢が多くの人たちに潤いを与えることをお互いに実感したいものです。そして仏教に中でもタイなどでは托鉢する僧侶に分け与える立場の私たち信者が跪いてお布施する。これによって私たちも同じ徳が得られることがその考えにあるとのことです。決して施しではなく私たちが成長していくためにも奉仕活動が必要であること、奉仕を通じて貢献する、ますます必要になると思いました。

2590地区（金子ガバナー）の地区大会におかれては元RI会長　李東建（D.K.リー）氏が会長代理としてみえられました。そのお話は大きく会員増強、ポリオ撲滅についてでした。

会員増強について私なりの考えを話させて頂きます。決して少人数のクラブが弱小クラブではない、素晴らしい活動をしているクラブが特にこの2500地区には多いです。それは素晴らしいことです。何が何でも増やすというわけではありませんが、やはり多くのメンバーがいることで奉仕活動の輪が広がり、親睦を深める機会が多くなります。そしてロータリーは素晴らしい奉仕哲学を持ち、それを113年にわたって実践してきた歴史ある団体です。そこで実践されます職業奉仕を通じた私たちロータリアンの活動は地域を、強いては世界を素晴らしいものに変化させていく力を持っています。この素晴らしい哲学を多くの人にひろめること、これも私たちに与えられた使命ではないでしょうか。その際多くのクラブで話させて頂きましたが、私は以下の点に意識して勧誘して頂きたいと思います。まず職業分類を大切に活用してほしいです。どのような職業の人がいたら自分たちのクラブはもっと活動の幅を広げられるかを検討して頂きたい。そして次に推薦したい人がロータリアンとしてふさわしい人であることを確認して頂きたいと思います。その人が自分の職業において信頼のある活動をしているか、そして社会的に評判のいい人かをしっかりとクラブ員皆で判断して頂きたいです。

そのように判断された被推薦者の方にはロータリーの意義をしっかりと話され、一緒に行っていきたい親睦や奉仕活動を語って頂きたいのです。ぜひロータリアンになることの素晴らしさを理解して頂いて下さい。ただ社会的状況もあります。どうか皆さんで根気よく取り組んで頂きたいと思っています。時間があるから、金銭に余裕があるからロータリー活動を行うのではなく、ロータリー活動を通じて自分の職業の価値を高め、多くの仲間を作り、信用を確立していくこと、その結果として社会的に多くの活動が可能となります。それこそがロータリーにおいての「入りて学びて、出でて奉仕せよ」であると思います。

第６分区　帯広北ロータリークラブ

会　　場：ホテル日航ノースランド帯広　　会　長：臼井　呉行
公式訪問：2018年10月12日（金）　　幹　事：山本　　淳

ガバナーのホームクラブ、若手会員諸兄のアイデアと行動力が地区大会の感激をもたらした。大懇親会の十勝プロダクツタワーは地区内外を問わず大好評であった。帯広市内第二の歴史と伝統を誇る老舗ＲＣの実力には衰えを感じることない。合田ＰＤＧ以来のガバナー輩出クラブとして一時の下降気味の年月は老害会員の退会と共に今後の可能性に光明を見出した。

クラブの役員・諸委員会構成には一部旧態依然の部分を引きずってきているがＣＬＰ委員会の考えを早く実行させて、二重構造の委員会構成による理事数の多さがクラブ内の風とうしの弊害・情報共有の阻害の感を思わせる。

スリーピングメンバーの多さを克服し、会員の量より質に転換させ、若手のエネルギーを充実させる可能性を秘めたるクラブです。ベテラン会長の最後のオリエンテーション次第ですね、ロタリー哲学を教え・導く、ベテラン会員の指導力発揮如何です。

今後１０年以内に若手ガバナーを輩出するためを考えて会員一丸となり、クラブの将来を賭ける・（描ける）為に努力すべきクラブです。

（文責：家内　裕典　副幹事）

第１分区　礼文ロータリークラブ

会　　場：香深フェリーターミナル　　会　長：松田　英二
公式訪問：2018年11月2日（金）　　幹　事：菅野　　浩

礼文ロータリークラブは1984年に創立され、今年度で35周年を迎えられます。

松田英二会長のもと、現在14名の会員で活動されており、内3名の方がチャーターメンバーだそうです。島としての人口減の中での会員増強は厳しいとは仰っておりましたが、その中でもスポーツ少年団の大会開催、5月の新卒者激励会等を行い、島民の皆さん、特に青少年へのサポートにクラブとして力を入れて取り組んでおられる印象をうけました。

実は礼文ＲＣ様への公式訪問は当初9月の初旬を予定していたのですが、台風及び胆振東部地震の影響で11月にずれ込む事になってしまいました。しかし今回の訪問に際し「やっとガバナーが来てくれた！」と、とても歓迎して頂き、香深フェリーターミナルで会員の皆さんにお出迎えをして頂いたのに始まり、クラブ協議会、例会と終始和やかながらも島ならでは会員の皆さんの結束の強さ、取り組みの工夫、またクラブ運営の難しさや問題点も含め、様々な積極的な意見交換ができた、自分自身にとっても大変有意義な公式訪問になったと思います。

懇親会では礼文の海産物を中心としたお料理とお酒でもてなして頂き、特にアワビの踊り焼きがとても美味しかったです。お酒を飲みながら、島の現状について会員の皆さんから色々なお話を聞かせて頂き、我々の普段の生活からはあまり想像ができない事がこの礼文島にはあると感じ、次回は是非プライベート(やはりお薦めの時期は高山植物が見ごろの6月だそうです)で訪れてみたいと強く思いました。

松田会長を始め、翌朝離島する際もフェリーターミナルまで見送りに来て頂いた礼文ＲＣ会員の皆さん、貴重な体験をさせて頂いただけではなく、お土産まで頂戴して本当にお世話に成りありがとうございました。　　（文責：中島　慎也　副幹事）

学習支援事業

旭川北ロータリークラブ
学習支援委員長　土　田　　晃

子ども達の未来に投資する学習支援人材育成事業

本事業は旭川市内在住の経済的等の理由で学習意欲が有るにも拘らず満足な学習機会が得られない子どもや小・中学生を対象にした学習支援事業で、旭川教育大学生、旭川北高校インターアクター、地域の住民の方々の協力を頂き、旭川北ＲＣがスポンサーとなって平成３０年３月から行っています。

毎月第１・第３月曜日の午後５時から７時にかけて、当クラブ会員の実家の事業所で学習方法や試験対策をマンツーマンで行い学習習慣を身に付け、学習終了後は当会員も交えてラーメンを食べながら交流を深めています。

現在では毎回１０人以上の子ども達が参加しており、今後は学習支援のみならず当クラブ会員の職業経験を話す出前授業も取り入れて、信頼できる大人との出会いから、子ども達が自らの力で貧困の連鎖を断ち切る為の自立支援を数十年に渡り継続的に行う計画です。更に同様な事業構築を支援し、地域での人材育成の一助になりたいと考えております。

ストップ　ザ　交通事故

根室西ロータリークラブ
社会奉仕委員会

根室市では死亡事故0を目標に掲げて頑張っているが、なかなか実現できない。根室西ロータリークラブは根室警察署の協力を頂き、保育所・幼稚園児、小中学生を対象とした啓発運動を展開する事としました。

市内の中学生からねむろしの頭4文字で交通安全標語を募集したところ、500作品の応募があり、思った以上の関心の高さにビックリ!!です。根室警察署、根室西ロータリークラブで審査をし、最優秀賞1点、優秀賞6点を選び、ポスターを作成しました。根室市広報「ねむろ」10月号に折り込み、1万1千戸（全家庭）に配布しました。各官公庁、企業、保育所・幼稚園、小中学校全ての施設にもポスターを掲示しております。

又、各保育所・幼稚園、小中学校へ訪問し、ロータリーメンバーが交通安全旗を持参し、事故に気をつけるように根室西RC会長と警察署長が注意点を分かりやすく説明しました。保育所・幼稚園児への啓発グッズは【折り紙】に“くるまにきをつけてね!”のシールを貼りプレゼント。小学生へ【エトピリカのオリジナルリフレクター(反射材)】、中学生へ【LEDライト付ボールペン】をプレゼント。根室市の全ての子供達に「ストップ ザ 交通事故」をタイトルに交通安全の意義を十分に伝える事が出来ました。

追　10月12日、根室警察署長より感謝状を頂きました。

幼稚園へ出向き、
交通安全について説明

折り紙をプレゼント

受賞者を表彰

作成したポスターを持ち、
受賞者達と記念撮影

啓発グッズ

日本留学の成果

米山奨学生　グエン　ティゴックアイン

4 月から今まで、網走ロータリークラブとカウンセラー奥谷さんが大変世話になっています。本当にありがとうございました。私は米山記念奨学生になってから、学生生活がとても良くなりました。

まず、アルバイトをやめて、勉強を集中が出来ました。それから、日本語がだんだん上手になって、日本語で 9 月 29 日に帯広に開催された地区大会でスピーチ出来るようになりました。さらに、10 月 9 日に網走ロータリクラブの例会で、ベトナムについて発表しました。次に、10 月 12 日には、学生達 100 人の前に、ベトナムの食品文化について発表しました。最初緊張しましたが、笑顔とベトナムの意気揚揚な心で、話ました。皆さんは、熱心に聞いてくれました。すごく嬉しかったです。

大学では、研究時間も増えました。9 月から研究テーマが決まりました。北海道の水産物のカニからチトサンを触媒として調整して、合成反応を研究しています。研究活動は始まったばかりですので、わからなことが多いです。それで、毎日 9 時から 18 時まで学校で研究しています。

その他、ボランティア活動の時間も増えました。私は子供が好きですから、網走のエコーセンターで子供のボランティア活動に参加しました。例えば、6 月 25 日に「世界に遊ぼう」のプログラムがありました。外国人達は、カナダ人、シンガポール人、ベトナム人、自分の文化について話ました。私は子供にベトナムの美味しい料理、簡単な挨拶、ゲーム、伝統的な文化などを伝えました。皆さんは、笑顔で参加してくれましたので、私も楽しい時間をすごせました。ボランティア活動から、私の友達も増えて、周り人と仲良くなって、自信も増えましたから。ボランティアが大好きです。最近は 10 月 26 日にハロウィンパーティーのボランティアにも参加しました。子供達は、すごく可愛かったです。

その上で、網走ロータリークラブ皆さんとカウンセラー奥谷さんは、一緒に色々なイベントに参加しました。例えば、ローターアクト大会、斜里ロータリークラブ例会、スポーツ大会、網走花火大会、網走マラソンボランティアなどに参加しました。9 月 29 日に帯広で地区大会の後で、網走マラソンボランティアは 9 月 30 日の朝にありました。それで、ちょっと疲れましたけど、すごく楽しかったです。全部、天ぷらとコーラを提供しました。また、マラソン参加した人の笑顔も素敵でした。

ロータリークラブには、本当に感謝しています。みんな家族の一員と考えています。特に、網走クラブとカウンセラー奥谷さんには、色なことを教えてくれて、助けてくれてありがとう、いつも感謝しています。これからも、よろしく、お願いします。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース
ハイライトよねやま
2018.11.13
Vol.224

2019 学年度奨学金申し込み状況

2019 学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校 539 校（「地区を超えた指定校」の重複含む。前年度 534 校）から 1,384 人（1,355 人）が推薦されました。被推薦者の国籍・地域は、中国 50.9%（53.5%）、ベトナム 13.2%（11.7%）、韓国 9.3%（9.4%）、そのほか、台湾、ネパール、マレーシア、インドネシアの順となっています。ベトナムは昨年と同様、申し込み段階で韓国を越えて、国籍別の第 2 位となりました。

被推薦者の奨学金別応募状況は、博士課程 21.2%（20.5%）、修士課程 37.9%（42.7%）、学部課程 38.7%（35.0%）、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8 地区 13 校から計 32 人の応募がありました。

11 月中旬に各地区へ応募書類を郵送し、1 月末日までに地区選考委員会による書類選考・面接試験が実施され、新規・継続合わせて 2019 学年度奨学生 850 人枠（2018 年 11 月現在）が決定します。

大学とロータリーとの交流を ― 第 2580 地区 ―

11 月 8 日、第 2580 地区（東京都）米山奨学委員会が主催する三者懇親会が開催されました。これは、奨学生・カウンセラー・指導教官ら大学関係者が一堂に会し交流を深めるためのもので、今年は総勢 100 人が参加しました。

まず、奨学生とカウンセラーがそれぞれ別室でグループディスカッションを行い、日常の疑問点や奨学生としてやってみたいことなどを話し合って、グループごとに発表。続いて大学関係者が合流し、第 2620 地区学友会のラシタ・エリヤーワ・アサンカ会長（スリランカ／2006-07／甲府南ＲＣ：現在同クラブ会員）が、奨学生時代のエピソードや夢を実現する意思を持つ大切さ、学友会活動やロータリアンになること等、現役奨学生たちの模範となる話を披露しました。その後は会場を移し、指導教官とカウンセラーが飲食を共にしながら奨学生の日常について話し合ったり、奨学生がひと言スピーチをしたりしました。

同地区の比留間孝司委員長は「奨学生やカウンセラーがそれぞれ顔を合わせて意見交換するだけでなく、大学関係者と交流できる意義は非常に大きい。当地区の伝統としてこれからも続けていきたい」と、話しました。

寄付金速報 ― 米山月間のご支援に感謝いたします ―

10 月までの寄付金は前年同期と比べて 4.4% 減（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:7.6% 減）約 2,480 万円の減少となりました。前年度が当財団設立 50 周年ということもあり、前年度比では減少幅が大きくなっていますが、寄付累計額としてはほぼ例年並みで推移しています。学友、ロータリアンの皆様からのご寄付に心より厚く御礼申し上げます。上期も残り 2 ヵ月を切りましたが、今後ともご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

ホームカミングで来日！学友が地区大会スピーチ

第2780地区 10月14日、茅ヶ崎市で開催された第2780地区（神奈川県）の地区大会2日目本会議で、台湾米山学友の徐重仁さん（1976-77／平塚ＲＣ／台北東海ＲＣ創立会長）が25分間の記念講演を行いました。日本留学中に出会ったコンビニエンスストアを台湾に初めて導入し、“台湾流通業の父”と呼ばれる徐さんのこれまでの軌跡と感謝の思いのこもったスピーチに、会場からは惜しみない拍手が送られました。

また当日は、友愛コーナーに「米山お茶サービス」の広いブースが設けられ、奨学生・学友がそれぞれの母国のお茶やお菓子でロータリアンをもてなし、大盛況でした。

第2550地区 10月28日、栃木県宇都宮市で開催された地区大会本会議で、カンボジアから来日した米山学友、サ・ソチアさん（2009-11／宇都宮東ＲＣ）がスピーチをしました。ソチアさんは母国パニャサストラ大学で教鞭をとる傍ら、日本語・ビジネス研修センター所長をつとめています。将来はカンボジアに米山学友会、また、ロータリークラブを設立したいと目標を語り、会場から大きな拍手を受けました。なお、会場外では、現役奨学生の研究内容をまとめたパネル展示があり、ロータリアンは次々と足を止めて、奨学生たちの説明に耳を傾けていました。

この「研究発表」は今年で3年目、奨学生同士にとっても互いに良い刺激になっているということです。

田中作次奨学金　―　ミャンマー米山学友会　―

ミャンマー米山学友会では、元国際ロータリー会長の田中作次氏からの寄付金を基金とし、「田中作次奨学金」を設立して、日本語を学ぶミャンマーの貧しい学生へ奨学支援をしています。

10月14日、2年目となる同奨学金の贈呈式がKyoshin JETC日本語学校で行われ、今年は4つの日本語学校で学ぶ学生15人に、1人20万チャット（約14,500円）が授与されました。第1期生の中には、実習生として、また介護福祉士を目指して来日したり、学友が経営する日本語学校で働くなど日本に関わる夢に向かって進んでいるとのことです。

もうすぐ締切

普通寄付金 申告用領収書の申請は11月末まで！

普通寄付金分の確定申告用領収証の申請期限は11月30日です。当会ホームページのメニュー、
寄付金について → 「普通寄付金：申告用領収書の申請はこちら」からお手続きください。
特別寄付金については来年1月下旬、自動的にクラブ経由で送付されますので申請はご不要です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

Rotary
Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター
NEWS

2018年12月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 「ロータリアンの顔の見える、ストーリーのある住民参加の広報活動 」

第3ゾーン・RPIC部門戦略計画において、第3ゾーン2018－19年度の目標を一番目にロータリー公共イメージと認知度の向上：マスメディア・地方広報機関・SNSで推進、二番目に「My ROTARY」への登録率60％の達成、三番目に「ロータリークラブ・セントラル」への各クラブ活動Dataの定期的入力と開示の推進を掲げた。

4月22日、車いすバスケ大会
気迫溢れるプレーに注目！
会場は鹿児島アリーナで、観戦無料
鹿児島サザンウインドロータリークラブ

2730地区の2016年6月末でのMy ROTARYの登録率は14.54％と低迷していた。そこで、クラブ戦略計画に対する取り組みの状況と公共イメージ向上への対応を分析して、地区としてどのようにクラブ強化のサポートが出来るのかを提言する目的で各クラブ役員に公共イメージ向上のアンケート調査をしました。65クラブ中57クラブから回答があり回答率は87.76％でした。このことから公共イメージに対する関心の高さがうかがえました。しかし、戦略計画委員会を設置しているクラブが28%と低いことがわかりました。

公共イメージ向上のために地域社会が必要としている奉仕活動を「クラブとして、何かしていますか。又は、見直しをしていますか」の問いに対して87.7%のクラブが「はい」でした。
「2017-18年度の活動をマスコミなどで報道されたことがありますか」の問いに対して73.7％のクラブが「はい」と高い回答率でした。
「2018-19年度のロータリー賞へのチャレンジを予定していますか」の問には、「はい」が35.1%で「いいえ」が57.9%となっていた。
「世界を変える行動人」キャンペーンを知っていますかについてはよく知っている5.3%、聞いたことがある43.9%、知らない47.4%でした。
これらのデータから、My ROTARYのラーニングセンターやロータリークラブ・セントラルをもっと活用し、戦略計画と公共イメージに対する認識と理解を深め、そして、「地元を変える行動人」の推進を強く感じました。
ロータリーの奉仕活動には有形無形のものがあります。
今後の地域での広報の在り方については地域住民も巻き込み，ストーリーの伝えられるロータリアンの顔が見えることが必要だと思います。また、持続可能な積極的参加の出来る内容と仕組み、仕掛けつくりを検討することによって多様性のある広報手段で、公共イメージ向上に繋げると思います。

第3ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター補佐　山下皓三（鹿児島西RC）

■ 「ロータリーの情報伝達経路の不備」

九州4地区担当のロータリーコーディネーター補佐を務めて2年目になります。働きかけの相手が自分の地区だけでなく他の3地区も含まれるので、あまり手を広げても抽象論に終わる可能性があるので、会員増強だけに絞って取組みました。一般に会員数は期首から増加し、12月、3月、6月に減少し、殊に6月末には多数の退会者があるので、期首からの増加だけを見ていても期末の会員数を推定することは困難です。一方、前年同月との比較を見ると、期末の増減が比較的早期に推定できます。そこで、九州4地区の過去5年間の前年同月の比較の統計に加えて当該年度のデータを毎月末にガバナーに送付して、地区の会員増強の参考にしてもらう試みをしました。その効果があってかどうか、九州4地区で合計82名の純増になりました。今年度はガバナーに加えて地区幹事と地区会員増強委員長にも送付しています。

ところで、私が地区ガバナーに伝えた情報が各クラブの会長やクラブ会員増強委員長を経てさらにクラブ会員にまで伝達されているかどうかが気になります。同様に、RI会長の活動方針がロータリーの真の実力者であるクラブ会員まで浸透しているかどうかです。当地区では、ロータリーの本質は例会出席、親睦、職業奉仕、陰徳であるという説が広く信じられており、数年前のロータリー研究会で、「例会なくして親睦なし　親睦なくして奉仕なし」とのスローガンが他地区から声高に述べられました（中核的価値観の親睦をご一読願います）。そのような雰囲気に数十年どっぷりとつかっていた会員がクラブ会長になり、やがてガバナーになった場合、「国際ロータリーは世界有数の国際人道支援団体である」という見識を持ったRI会長の意向が、GETSや国際協議会などの短期集中研修を行ってはいますが、誤解なく受け入れられているだろうか。これに関して、今年度の私の地区のガバナーメッセージ「寛容と思いやり そして和の心」が月信の表紙に大きく印刷されており、その下に小さな活字で国際ロータリーのテーマ「インスピレーションになろう」が書いてあります。これは手続要覧の趣旨とは異なるだけでなく、ガバナーの役割が問われるように思います。

このような状況で、ARCの私のお勧めがどの程度地区ガバナーに受け入れられるかやや不安もありますが、会員増強はクラブの存続にもかかわることが比較的分かり易いのですが、財団への寄附や公共イメージと認知度の向上などの活動についてガバナーのリーダーシップがどの程度発揮されるか心もとない点があるように思います。

第3ゾーンロータリーコーディネーター補佐　穴井元昭（博多RC）

文　庫　通　信 [373]

ロータリー文庫通信373号　2018年10月　日本のロータリーの歴史より

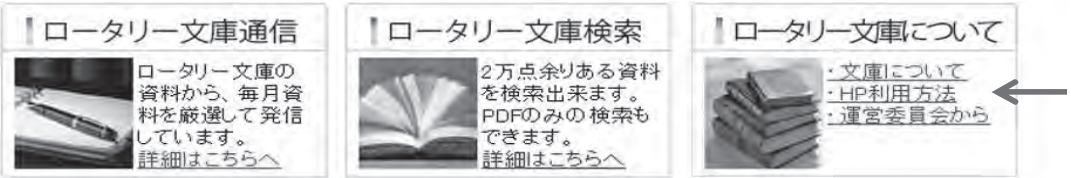
ロータリー文庫は日本のロータリー５０周年記念事業の一つとして、1971年11月に公開された皆様の資料室です。日本のロータリーは2020年に100周年を迎えます。

今回は1920年東京ロータリークラブ発会から約50年間の日本のロータリーの歴史の中でのいくつかの資料をご紹介します。特にロータリーの友、ロータリー文庫、米山記念奨学会については発足当時を記述した資料を選びました。これらの中から日本のロータリーの歴史の新たな発見があり、皆様の今後のロータリーライフに生かされることを願います。

書　　名	著者 / 出版社	発行年	頁	
温故知新　ロータリーの今昔	遠藤健三　D.263	1987	7P	※
＜座談会＞ロータリー文庫について	－　ロータリー文庫	1987	27P	※
ロータリー米山記念奨学会史〈第一章〉	－　米山記念奨学会	1992	31P	※
日本ロータリー史(1920～1970)	直木太一郎　－	1971	37P	※
日本ロータリー再建の頃	ジョージ R.ミーンズ(元 RI 事務総長)　－	友1976 /9月～	27P	※
満州におけるロータリー運動の展望	佐々木孝三郎　－		19P	※
朝鮮に於けるロータリーと 第10年次大会を回顧して	佐々木孝三郎　－		11P	※

上記 ※印はデジタル化されている資料です。

＊資料の検索は文庫ホームページから　http://www.rotary-bunko.gr.jp



トップページには三つの窓があります。上記矢印「ＨＰ利用方法」をクリックしていただきますと、「ホームページの利用方法」という PDF が表示されます。

ここには1999年２月ホームページ開設以来、データーベース化された全ての資料の検索方法が書かれています。

尚、過去の文庫通信一覧については、左窓の「詳細はこちらへ」をクリックしてください。

新入会員紹介

2018年９月・10月・11月入会

分　区	ロータリークラブ	名　　前	職業分類	生年月日	入会日
第２分区	枝幸ロータリークラブ	小　川　俊　輝	教育行政	昭和36年12月13日	11月１日
第３分区	旭川ロータリークラブ	中　本　浩　信	中央銀行	昭和38年10月24日	９月14日
第３分区	旭川ロータリークラブ	青　山　知　正	旅行	昭和38年８月19日	10月12日
第３分区	旭川ロータリークラブ	大　坪　達　哉	電気通信事業	昭和43年８月11日	10月12日
第５分区	網走西ロータリークラブ	中戸川　　公	普通銀行	昭和44年８月16日	10月18日
第６分区	帯広ロータリークラブ	関　山　岳　大	証券業	昭和50年11月20日	10月24日
第６分区	帯広南ロータリークラブ	萬　　智　光	不動産管理業	昭和49年10月14日	11月５日
第６分区	足寄ロータリークラブ	近　藤　　充	新聞販売業	昭和44年６月11日	11月１日
第６分区	広尾ロータリークラブ	藤　井　昭　彦	倉庫業	昭和33年11月13日	10月１日

ロータリー財団寄付者

分　区	寄付の種類	名　　前　（ふりがな）	ロータリークラブ	寄付月日
第１分区	年次寄付　ＰＨＦ	明　田　常　臣（あけた　つねおみ）	稚内南ロータリークラブ	10月23日
第２分区	米山功労者（３回目）	池　田　幸　司（いけだ　こうじ）	名寄ロータリークラブ	10月31日
第２分区	ＰＨＦ・米山功労者（１回目）	湯　川　孝　一（ゆかわ　こういち）	名寄ロータリークラブ	11月12日
第３分区	ＭＰＨＦ（３回目）	井　内　敏　樹（いうち　としき）	旭川西ロータリークラブ	11月７日
第７分区	ＰＨＦ	千　葉　　潔（ちば　きよし）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ	濱　田　聖　子（はまだ　せいこ）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ＋３	森　　圭一郎（もり　けいいちろう）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ	髙　橋　将　文（たかはし　まさふみ）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ	遠　藤　好　彦（えんどう　よしひこ）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ＋６	貝　嶋　政　治（かいじま　まさはる）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ＋６	渡　辺　雅　樹（わたなべ　まさき）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第７分区	ＰＨＦ＋５	池　田　圭　樹（いけだ　けいじゅ）	釧路ベイロータリークラブ	11月14日
第５分区	米山功労者（２回目）	太　布　康　洋（ふとの　やすひろ）	北見ロータリークラブ	11月８日
第５分区	ＭＰＨＦ（２回目）	坂　井　　浩（さかい　ひろし）	北見ロータリークラブ	11月14日
第５分区	ＰＨＦ	高　野　英　明（たかの　ひであき）	北見ロータリークラブ	11月14日
第５分区	ＰＨＦ	下　元　陽　司（しももと　ようじ）	北見ロータリークラブ	11月14日
第５分区	米山功労者（２回目）	黒　部　哲　哉（くろべ　てつや）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	鈴　木　康　士（すずき　やすし）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	宮　城　宏　好（みやぎ　ひろよし）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	佐々木　　茂（ささき　しげる）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	東海林　政　行（しょうじ　まさゆき）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	浅　野　寛　道（あさの　ひろみち）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	川　島　弘　保（かわしま　ひろやす）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（１回目）	与野木　隆　一（よのぎ　りゅういち）	北見西ロータリークラブ	11月８日
第５分区	米山功労者（２回目）	今　井　郁　夫（いまい　くにお）	北見東ロータリークラブ	11月５日
第５分区	米山功労者（１回目）	廣　木　保　博（ひろき　やすひろ）	北見東ロータリークラブ	11月５日

物故会員

謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈りいたします

釧路ロータリークラブ

みずの　さとし
水野　哲
建築資材

平成30年10月17日逝去
（64才）

釧路ロータリークラブ

しもかわべ　よしひこ
下川部善彦
海上運輸

平成30年10月21日逝去
（73才）

旭川西ロータリークラブ

とうごう　まさはる
東郷　正晴
整形外科医

平成30年10月26日逝去
（73才）

旭川西ロータリークラブ

さわだ　やすあき
澤田　泰明
建築材料卸売

平成30年10月31日逝去
（85才）

お知らせ

事務所移転

稚内ロータリークラブ
新住所／〒097-0022　稚内市中央３丁目10-18　丹羽ビル３F
TEL 0162-22-2030　FAX 0162-23-5380　※TEL、FAXの変更はありません。

例会場変更

稚内ロータリークラブ
11月29日（木）より **ANAクラウンプラザホテル** へ変更になりました。
稚内市開運１丁目2-2　TEL 0162-23-8111

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2018年10月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼文	5	80.0	14	14	0	0
	利尻	4	82.4	17	17	0	0
	利尻島	2	65.4	13	13	0	1
	天塩	2	62.5	11	11	0	3
	豊富	4	100.0	22	22	0	1
	稚内	4	79.2	47	48	1	2
	稚内南	3	92.0	36	37	1	2
	計		80.2	160	162	2	9
2	美深	3	80.8	26	26	0	0
	枝幸	3	78.3	22	23	1	0
	名寄	4	90.2	58	59	1	2
	中頓別	4	83.3	18	18	0	0
	士別	4	88.5	48	48	0	1
	下川	3	92.0	4	4	0	0
	計		85.5	176	178	2	3
3	旭川	3	79.6	71	75	4	0
	旭川東	4	75.4	34	34	0	0
	旭川北	4	75.5	42	42	0	3
	旭川南	3	81.8	33	33	0	0
	旭川西	4	73.9	49	49	0	5
	旭川東北	4	90.6	17	17	0	3
	旭川モーニング	4	86.6	28	28	0	5
	旭川空港	4	77.1	12	13	1	4
	美瑛	4	65.7	27	25	-2	0
	富良野	3	100.0	48	50	2	2
	上川	3	80.0	10	10	0	0
	2500REクラブ	4	80.3	19	19	0	1
	計		80.5	390	395	5	23
4	遠軽	4	78.3	41	41	0	2
	紋別	4	61.6	33	31	-2	0
	紋別港	5	88.1	35	35	0	0
	中湧別	5	87.1	11	11	0	1
	興部	4	75.0	16	16	0	1
	雄武	5	63.3	12	12	0	0
	滝上	3	77.8	15	15	0	1
	計		75.9	163	161	-2	5
5	網走	4	72.5	49	50	1	7
	網走西	4	72.2	50	50	0	0
	美幌	4	86.4	54	57	3	4
	北見	4	93.8	55	59	4	4
	北見東	4	81.5	52	54	2	3
	北見西	4	90.8	59	62	3	0
	清里	3	81.6	28	29	1	0
	留辺蘂	4	84.6	24	25	1	1
	斜里	4	82.2	37	37	0	4
	計		82.8	408	423	15	23
6	足寄	4	65.0	30	29	-1	1
	広尾	3	86.3	21	22	1	0
	上士幌	4	63.0	14	15	1	0
	芽室	4	65.0	26	28	2	1
	帯広	4	81.3	89	91	2	6
	帯広北	4	81.6	67	69	2	2
	帯広西	4	84.3	71	75	4	3
	帯広東	4	91.0	39	39	0	2
	帯広南	4	77.3	75	77	2	8
	音更	3	70.7	39	41	2	3
	清水	4	79.8	22	21	-1	3
	計		76.8	493	507	14	29
7	釧路	4	82.2	94	99	5	1
	釧路東	4	63.0	32	34	2	1
	釧路北	4	79.0	78	80	2	4
	釧路南	4	70.0	27	29	2	5
	釧路西	4	72.4	29	29	0	1
	釧路ベイ	5	83.8	21	21	0	1
	音別	3	67.0	17	16	-1	0
	白糠	4	82.5	9	10	1	0
	計		75.0	307	318	11	13
8	厚岸	4	80.0	17	17	0	0
	別海	4	62.5	19	18	-1	0
	浜中	4	87.6	12	13	1	0
	中標津	3	71.4	21	21	0	1
	根室	4	70.0	38	38	0	1
	根室西	4	83.4	49	50	1	0
	弟子屈	4	75.4	18	18	0	1
	計		75.8	174	175	1	3
総計			79.1	2,271	2,319	48	108

第2500地区 全67クラブ	18年7/1会員数	10月30日会員数	増減	平均出席率
	2,271人	2,319人	48人	79.1%
女性会員数		108 人		

国際ロータリー第2500地区
2018-2019年度　ガバナー

細　川　吉　博

■ガバナー事務所

〒080-0801 北海道帯広市東1条南14丁目1-1 タイヤセレクト2F
Tel:0155-66-9307　FAX:0155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

■Governor's Office

Tire Select 2F,1-1,Minami 14-chome,Higashi 1-jo,Obihiro-shi
Hokkaido,080-0801,Japan
Tel:+81155-66-9307　FAX:+81155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

http://rid2500.jp